

神戸大学大学院海事科学研究科前期課程研究発表会

マリンエンジニアリング講座プログラム

2011年2月15日（火曜日）

第1会場 2号館 2305教室

- | | |
|--|---------------|
| (1-0) 副講座主任の挨拶と諸注意 | 8:50 – 8:55 |
| (1-1) 上森 佑太郎
熱負荷を受けるボルト締結体の熱及び力学挙動に関する研究 | 9:00 – 9:20 |
| | 福岡 教授 |
| (1-2) 上平 貴弘
大型車の車輪脱落事故のメカニズムの解明と防止策に関する研究 | 9:20 – 9:40 |
| | 福岡 教授 |
| (1-3) 杉本 吉規
数値解析による多数ボルト締結体の締め付け特性と最適設計に関する研究 | 9:40 – 10:00 |
| | 福岡 教授 |
| (1-4) 武田 洋輔
三元有限要素解析によるねじ込みボルトとスタッドの力学特性の評価 | 10:00 – 10:20 |
| | 福岡 教授 |
| 休 息 | 10:20 – 10:25 |
| (1-5) 松田 祐介
接触面剛性を考慮した構造物の固有振動解析 | 10:25 – 10:45 |
| | 福岡 教授 |
| (1-6) 宮本 和英
チタン・チタン合金の接触熱抵抗の評価と数値シミュレーションへの応用 | 10:45 – 11:05 |
| | 福岡 教授 |
| (1-7) 中西 哲也
石炭油-水エマルジョン燃料を用いた NO _x 及び PM の低減効果 | 11:05 – 11:25 |
| | 藤田 教授 |
| 休 息 | 11:25 – 11:35 |
| (1-8) 清水 康平
高解像度ステレオ画像を用いた船舶等の位置計測の高精度化 | 11:35 – 11:55 |
| | 山本 准教授 |
| (1-9) 中村 浩唯
自律移動ロボットのための道路境界認識による直線走行及び分岐点認識法に関する研究 | 11:55 – 12:15 |
| | 山本 准教授 |

(1-10) 野村 康紘 12:15 – 12:35
要所画像中のランドマーク自動抽出とそれらの複合的検出法による移動ロボットの自律走行に関する研究

山本 准教授

昼 食

12:35 – 13:20

(1-11) 石田 和也 13:20 – 13:40
船用重質燃料の液化ジメチルエーテルによるディーゼルエンジンの燃焼改善

段 准教授

(1-12) 宮脇 直也 13:40 – 14:00
予燃焼室式ディーゼルエンジンにおけるジャトロファ油水エマルジョン燃料の適用

段 准教授

(1-13) 山根 洋 14:00 – 14:20
減圧プール沸騰熱伝達と限界熱流束に関する研究

福田 教授

第2会場

2号館 2306教室

(2-1) 里藤 裕隆 9:00 – 9:20
高エネルギー中性子用電子式個人線量計の設計

小田 教授

(2-2) 前田 佑介 9:20 – 9:40
イオン照射した CR-39 固体飛跡検出器の表面特性評価

山内 教授

(2-3) 金崎 真聡 9:40 – 10:00
高精度粒子線分析のための PADC 中潜在飛跡特性評価

山内 教授

(2-4) 佐々木 雄基 10:00 – 10:20
加速器分析法を用いた Li 金属化合物の CO₂ 吸収特性と表面近傍組成変化の研究

古山 准教授

休 息

10:20 – 10:25

(2-5) 中本 雄也 10:25 – 10:45
磁場中で平行平板電極間を流れる海水の電気分解と流れの数値シミュレーション

梅田 准教授

(2-6) 門坂 紘典 10:45 – 11:05
穴の開いた脂質二分子膜小胞の三次元形状の数値解析

梅田 准教授

(2-7) 棚瀬 康之 11:05 – 11:25
海洋流出油の分離・回収のための電極分割方式による超伝導MHD分離法の研究
武田 教授

(2-8) 谷中 拓哉 11:25 – 11:45
5孔ピトー管を用いたヘリカル型海流MHD発電機内部の流速分布計測
武田 教授

(2-9) 久保菌 隆祥 11:45 – 12:05
超伝導MHD分離用電極の開発に関する基礎研究
武田 教授

昼 食

12:05 – 13:20

(2-10) 田中 賢 13:20 – 13:40
パラジウム系酸化物の合成と組成による電荷輸送特性制御
佐保 准教授

(2-11) 板倉 大祐 13:40 – 14:00
ガドリニウムのオキシ水酸化物をホスト相とした蛍光結晶の合成と量子収率の評価
佐保 准教授

(2-12) 原 京太郎 14:00 – 14:20
ポリフッ化ビニリデンを用いた固相反応法による銅系酸化物の結晶構造制御
佐保 准教授

(2-13) 堀 太一 14:20 – 14:40
マンガンを含む置換型酸化物の電気化学的結晶合成と物性評価
佐保 准教授

<諸注意>

研究発表を行う院生は当日 8 時 50 分に 2305 教室（第 1 会場）に集合する。副講座主任の挨拶と諸注意を聞いた後に各会場に別れる。

会場設営については全ての教職員と院生・学生が協力する。プロジェクターについては各会場の午前午後で最初に登壇する院生が所属する研究室が準備する。司会は研究指導教員が務め、その補助は研究室内の院生・学生が原則として行う。コンピュータについては可能な限り共同して使用する。

発表の持ち時間は 1 人当たり 20 分、うち 15 分を講演時間とし、残りを質疑応答や登壇者交替のための時間等に利用する。